

家庭を学ぶの環境に ～すすんで学ぶ子どもをめざして～

保護者の皆様へ

～「確かな学力」の土台は、基本的な生活習慣の確立としつけ～

教育の原点は「家庭」にあります。子どもの教育は家庭から始まり、子どもたちは、家族との温かい関わりや体験を通して多くのことを学び、たくましく成長します。

ところが最近、「人との関わりが苦手」「学びへの意欲が低下している」など子どもたちの様々な課題が指摘され、家庭の学習面でも「学ぶ習慣は身に付いているのか?」「学習時間は確保できているのか?」などと、問われています。

紀伊中学校では、今こそ学校と家庭が一致協力して、子どもたちに健康な心身と道徳性を育て、「確かな学力」を身に付けさせなければならないと考えます。

この「家庭学習の手引き」は、特に教科の学習に焦点を当て、各家庭で子どもたちが、自分の力で目標を持って学習を進めていけるよう、大切なことや具体的なアドバイス、ヒントなどを集めて作成しました。

しかし、家庭学習の習慣化を図るには、「早寝早起きをする」「挨拶をする」「家事を分担する」などの基本的な生活習慣の確立としつけが大切であり、まず家庭で取り組まなければならないと考えています。

紀伊中学校では、家庭における基本的な生活習慣の確立としつけを土台に、豊かな自然体験や社会体験を通して、子どもたちに、学ぶことの意味や楽しさ、人と関わることの素晴らしさに気づかせ、自分に自信と誇りをもってほしいと思っています。また、学んだことをぜひ家庭や地域での生活に生かしてほしいと願っております。

保護者の皆様にも以上の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いし、子どもたちの家庭学習がさらに充実するように、この手引きをご活用いただければ幸いです。

子どもの「学ぶ力」は家庭学習から育ちます

そんなおおげさな! と、思われるかもしれませんが、実際、家庭学習に励んでいる子どもたちには、自分に自信をもち、積極的にあらゆる学習に取り組んでいる子どもたちが多いのです。もちろん、「学ぶ力」を育てることは学校教育の重要な役割ですが、むしろ家庭での関わり方によって、その育ち方は大きく変わります。

家庭(保護者)と学校(教師)とが「家庭学習」を通して協力し合うことが大切です。

我が家の凡事徹底と家庭学習

「当たり前のことが当たり前にできる」いわゆる「凡事徹底」をあなたの家で、学校で、地域でいろいろなところで、やってみましょう。

- ・あいさつをする
- ・人の話を聞く
- ・相手を思いやる
- ・いじめをしない
- ・時間を守る
- ・靴を並べる
- ・清掃をする
- など

生活にリズムを

「早寝早起きをする」「朝食をきちんと食べる」など、規則正しい生活リズムが日々の子どもの生活を充実させ、家庭学習の習慣化につながります。

「がんばり」を見逃さずに

子どもの学習に目を向け、必要な声かけや見届け(点検)を行いましょう。ねばり強い努力を本気でほめましょう。

勉強時間を決めて

最初は短く、だんだん長く。目安は15分×学年(中1は「7」として計算します)です。テレビを見ながら、おやつを食べながらはやめましょう。

すすんで学ぶ好奇心を

身のまわりや社会の出来事に目が向くように働きかけましょう。PTA行事や地域行事への参加をすすめましょう。

読書に親しむ

まずは家庭での読書や読み聞かせをしましょう。図書館や書店で本との出会いも楽しいものです。

情報(インターネット)との正しいつきあい方を

役立つ道具ですが、同時に危険性もあわせてもっています。ルールを守り、家族の目の届くところで楽しく使わせましょう。

一緒に家事を

家族の一員としての責任感と自立心を育てましょう。家族が協力して家事を行うことで、それぞれの大切さを学びます。

先生と連絡を

わからないこと、困ったことは、遠慮せずに先生に相談しましょう。子どもたちのことを、先生と一緒に考えてみましょう。